

▶ 金融機関での振込によるご寄附

・本学基金口座に直接振込

金融機関の窓口、ATM、インターネットバンキング等から、下記指定口座に直接お振込みください。
(振込手数料のご負担をお願いいたします。)
なお、お振込みの前に「東京海洋大学基金寄附申込書」(本学基金HPを参照)をご記入の上、E-mail、FAXまたは郵送にて基金渉外室にお送り願います。

金 融 機 関	口 座 名 義	口 座 番 号
みずほ銀行 (品川支店)	国立大学法人東京海洋大学	普通預金 1563648
ゆうちょ銀行	東京海洋大学基金	00150-1-566724



金融機関振込

・本学指定の払込取扱票を使用した振込

本学指定の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行又は郵便局でお振込みください。(振込手数料は無料です)
※払込取扱票をご希望の方はこちらからお申込みください。→



▶ オンライン決済によるご寄附

<クレジットカード決済 コンビニ決済 Pay-easy決済>

本学基金HPからお申込みください。(振込手数料は無料です)
※お申込みいただいた寄附金の領収日は、申込日ではなく、決済代行会社から本学に寄附金が入金された日となりますのでご注意ください。



オンライン決済

▶ 現物や遺贈制度によるご寄附

有価証券等の現物や遺贈制度による寄附もお受けさせていただきます。事前に、基金渉外室にご相談ください。

※基金の管理運営の円滑化等のために、管理費として寄附金受入額の10%を充てさせていただきます。

税制上の優遇措置

東京海洋大学へのご寄附には税制上の優遇措置が適用されます。後日お送りする寄附金領収書、控除証明書を確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出ください。

■ 個人の場合

<所得控除> 寄附した年の総所得金額等の合計額から控除を受けることができます。

<税額控除> 「修学支援事業基金」「研究等支援基金」へのご寄附の場合のみが対象となります。

※所得控除又は税額控除のいずれか一方の有利な制度を選択していただけます。

◇ 住民税

寄附をした翌年1月1日時点で東京都、港区にお住まいの方は、寄附の翌年の個人住民税の寄附金税額控除を受けることができます。

■ 法人の場合

寄附金の全額を損金算入することができます。

税制上の優遇について
詳しくはこちらへ →



領収書の発行について

本学が寄附金の入金を確認した日の翌月に「寄附金領収書」を発行いたします。

ご寄附への謝意 (希望者のみ)

● ご芳名の掲載

ご芳名を本学ホームページに掲載し、末永く歴史に刻まさせていただきます。

● 感謝状の贈呈

寄附累計額が10万円以上の皆様に感謝状を贈呈いたします。

● 銘板への掲示

寄附累計額が30万円以上の皆様につきまして、寄附者銘板にご芳名を記し、顕彰させていただきます。銘板は品川キャンパス・越中島キャンパスに設置しております。

● 感謝の集いイベントへのご招待

本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額(累計30万円)以上の寄附をいただいた方々をお招きして、直接謝意をお伝えする「感謝の集い」にご招待いたします。

お問い合わせ先

国立大学法人東京海洋大学 基金渉外室

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 TEL : 03-5463-4279

E-mail : ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp FAX : 03-5463-0359



東京海洋大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



東京海洋大学基金 ご寄附のお願い

学長挨拶 ～海洋、その先の未来へ～



国立大学法人東京海洋大学学長

井関 俊夫

皆様には、日頃より東京海洋大学へご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京海洋大学は「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、我が国が海洋立国として発展し続けるために、海洋に関する総合的教育研究を行ってきました。その歴史を振り返って見れば、平成23年に設置された「東京海洋大学基金」の温かい支援により、学生への修学支援や課外活動支援、教育研究プロジェクト支援、さらに重要文化財「明治丸」や登録有形文化財「雲鷹丸」の維持管理をはじめとするミュージアム関連事業等を実施することができたと言えます。

本学では、令和6年度から4学期制・105分授業を全学的に導入しました。この改革によって夏季休業期間を以前より長く確保し、学外学修(海外留学、中長期インターンシップなど)の充実や、拡大した授業時間を用いたアクティブ・ラーニングの導入など、多様な授業展開が可能となりました。

グローバル人材育成については、「日・北欧連携 国際協働教育『海洋の未来を創造する高度専門技術者』養成プログラム(通称:METISプログラム)」を開始し、北欧の大学と共に、海洋産業の生産性向上と活性化、海洋を巡る地球規模の諸課題解決に向けた教育プログラムを実施しています。

近年重要度を増しているAI・データサイエンス教育については、文部科学省の支援による卓越大学院プログラムを新たに「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」と位置づけ、専攻の枠を超えた教育を実施しています。

起業によって社会的課題を解決したいと考える学生に対しては、海洋アントレプレナーシップ養成プログラムを提供するとともに、ビジネスプラン・コンテストも開催しています。

また、海洋工学部では昨年11月に創基150周年を迎え、教育施設や学修環境の整備、給付型奨学金の拡充を目的とした記念事業を実施しています。

混迷が深まる国際情勢と、その日本経済への影響が心配される中、本学では「海洋」の未来に積極的に貢献しようとする学生達に対して、安心して学修に集中できる環境を整えたいと思っています。そのためにも「東京海洋大学基金」事業の継続・発展は必要不可欠であると考えています。今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



東京海洋大学基金HP



東京海洋大学HP

A.一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用します

B.プロジェクト基金

プロジェクトごとに、
寄附金の使途を指定して募集します

寄附メニュー



寄附メニュー

6. その他



① 明治丸海事ミュージアム事業

重要文化財「明治丸」を含む明治丸海事ミュージアムの事業を支援します。



④ 海洋生命科学部及び 海洋資源環境学部 学術研究奨励基金

品川キャンパス両学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。



⑦ 海洋工学部国際交流基金

海洋工学部における国際交流等に活用する基金の充実を支援します。

⑧ 本学練習船による 海洋人材育成支援事業基金

本学練習船を活用した海洋人材育成に関する教育・研究環境の維持、充実を支援します。



1. 大学プロジェクト

キャンパス再開発など、大学ビッグプロジェクトとして大学全体で推進していく事業に活用します。



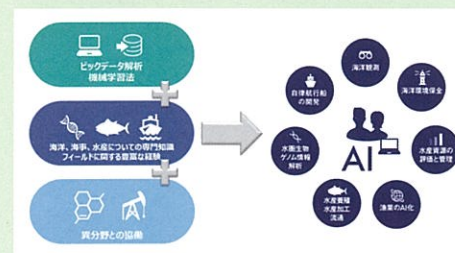
5. 課外活動等プロジェクト

学生が運営する大学公認の課外活動等を支援します。



② マリンサイエンス ミュージアム 事業 (雲鷹丸修復事業含む)

登録有形文化財「雲鷹丸（うんようまる）」を含むマリンサイエンスミュージアム事業を支援します。



⑤ 海洋AI・データサイエンス 学位プログラム教育基金

大学院5年一貫教育プログラム「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」を支援します。



③ 附属図書館整備充実

本学の学術情報基盤である附属図書館の整備充実を支援します。



⑥ 水圏科学フィールド教育 研究センター保全支援基金

学生の実習場である水圏科学フィールド教育研究センターの各ステーションの保全等を支援します。

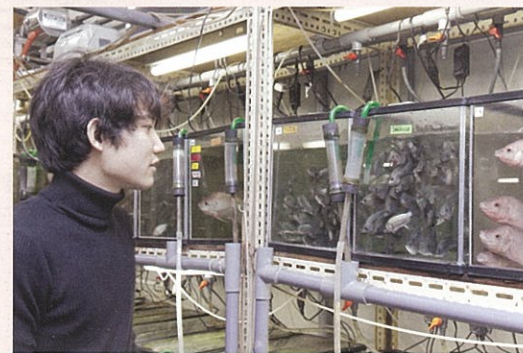


2. 修学支援・研究等支援プロジェクト※税額控除対象



① 修学支援プロジェクト（修学支援事業基金）

経済的理由で修学を断念することのないよう学生への積極的な支援を行います。
また、学業を継続することが困難となった学生への緊急支援を行います。



② 研究等支援プロジェクト（研究等支援基金）

学生又は不安定な雇用状態にある研究者が学会等への参加に要する旅費の支援、論文の刊行に要する費用等、研究活動の支援を行います。



3. グローバル教育支援プロジェクト

グローバル人材の育成に資する取組みや外国人留学生支援等を通じた大学のグローバル化に活用します。



4. 学部・研究科等プロジェクト

特定の学部又は研究科や組織を支援していく事業に活用します。

- ① 海洋生命科学部 ② 海洋工学部(創基150周年記念事業)
- ③ 海洋資源環境学部 ④ 海洋科学技術研究科

※海洋工学部へのご寄附は令和7年6月～令和9年5月の間「創基150周年記念事業」となります。